

株主通信

第155期中間[2017年4月1日~2017年9月30日]



『世界のパートナーと社会課題の解決に
取り組む企業』を目指して



Contents

株主の皆様へ	01	第155期上半期の主なトピックス	07
連結決算の概要	03	会社概要	08
業績ハイライト	04	株式情報	09
事業の概要	05	証券会社に口座をお持ちでない株主様へ	10

※表紙掲載製品の説明は7頁をご覧ください。

株主の皆様には平素格別のご高配を賜り
厚く御礼申し上げます。

ここに第155期上半期(2017年4月1日から

2017年9月30日まで)の業績ならびに

今後の見通しをご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、

今後ともなお一層のご支援ご協力を賜りますよう

お願い申し上げます。

2017年12月

代表取締役 社長

上田輝久



■当上半期の業績

当上半期の世界経済は、北米では雇用環境の改善や堅調な個人消費により、景気の回復が続きました。欧州では英国のEU離脱問題などがあるものの、景気は緩やかに回復しました。中国では第13次5ヵ年計画関連の各種政策の効果もあり、景気は好調を維持しています。また、東南アジアでは景気の持ち直しの動きがみられましたが、インドでは物品・サービス税統一の影響により、景気は一時的に減速しました。日本では企業収益の改善を背景とした雇用や所得環境の改善により、緩やかな景気回復が続きました。

こうした情勢のもとで当社グループは、2017年4月から新たな3ヵ年の**中期経営計画**をスタートさせ、「**世界のパートナーと社会課題の解決に取り組む企業**」を目指し、「アドバンスト・ヘルス

ケア」など成長分野への投資、AI・IoTを活用したアフターマーケット事業の拡大や重点機種競争力強化などによる収益力強化、また組織基盤変革など、成長に向けた施策を積極的に進めています。

当上半期の業績につきましては、**売上高は1,720億6千6百万円(前年同期比11.2%増)**となり、**営業利益は157億4千8百万円(同3.3%増)**、**経常利益は156億1千7百万円(同7.1%増)**、**親会社株主に帰属する四半期純利益は113億2千1百万円(同9.6%増)**となりました。

中間配当金につきましては、普通配当を前年中間配当金に比べ1株当たり1円増の**11円**とさせていただきます。

■今後の見通し

今後の見通しにつきましては、海外では、一部で先行きが不透明な部分があるものの、着実な景気回復が続くと見込まれる米国、各種政策の効果により安定した経済の成長が見込まれる中国、景気が総じて堅調に推移している東南アジアなど、全体的に拡大基調の継続が予想されます。日本では雇用・所得環境の改善が続く中で、引き続き緩やかな景気回復が続くものと予想されます。

当社グループは2017年4月から3ヵ年**中期経営計画**をスタートしました。本計画では、「**世界のパートナーと社会課題の解決に取り組む企業**」を目指し、①**人の健康**、②**安心・安全な社会**、③**産業の発展の3つの事業領域**において、「**成長分野投資**」、「**収益力強化**」、「**組織基盤変革**」を強化しており、業績面を含めて概ね順調に進んでおります。今後も、以下の諸施策を着実に実行していくことで、引き続き持続的成長を図り、企業価値向上に取り組んで参ります。

(1)「成長分野投資」による事業成長

- ①成長分野として定めた「ヘルスケア」、「インフラ」、「マテリアル」、「環境・エネルギー」の4つの重点分野で事業部間の連携を図るとともに、積極的な投資を行うことで事業拡大と新事業の創出を進めていきます。
 - ・ヘルスケア分野では、がんや認知症、生活習慣病を対象とした次世代検査ビジネスや試薬ビジネスなどを進め、医療や健康に関わる分野で先進的な価値の提供を目指します。
 - ・インフラ分野では、産業インフラの経年劣化の状況把握やメンテナンスの支援を進めます。
 - ・マテリアル分野では、新材料や機能性材料に対する新たな分析法や計測方法の提供を目指します。
 - ・環境・エネルギー分野では、環境保全や新エネルギーの開発に関わるソリューションの提供を進めます。
- ②大学・研究機関・企業などとの外部連携を強化すると共に、IoT・AI・ロボット・3Dプリンターなどの新技術の活用を積極的に進めます。
- ③研究開発への投資をさらに強化し、ヘルスケアR&Dセンターへの設備投資や世界主要拠点に展開するイノベーションセンターの活用などを積極的に行います。
- ④M&Aや事業連携などによる外部資源の活用も戦略的に進め、

ヘルスケア分野を中心に新たな技術や販路の獲得などを通じて、事業基盤の強化を図ります。

(2)「収益力強化」による事業構造改革

- ①アフターマーケット事業の拡大を収益力強化の最重点施策と位置づけて、IoTを活用した新たなサービス事業の創出や試薬・消耗品のラインアップの拡充を図るなど、サービス事業の強化に取り組みます。
- ②重点機種については、投資をこれまで以上に積極的に行い、新製品の開発力強化を進めます。また、機種毎に収益性の評価を行い、再建もしくは撤退も含めた見直しを迅速に進めます。
- ③他社と差別化できる付加価値の高い製品やアプリケーションの創出により、収益拡大を図っていきます。

(3)「組織基盤変革」による強固な事業基盤確立

- ①国連の掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成への貢献を目指し、当社の技術力で社会課題の解決に取り組めます。また、「環境経営」や「ガバナンス機能の強化」など環境・社会・ガバナンス(ESG)の視点に基づいた経営で事業基盤の強化を行っていきます。
- ②「健康経営」では、自社で開発する装置や最先端の技術を活用することで、社員の健康増進への寄与や今後の事業発展に繋がる活動を進めるとともに、「働き方改革」への取り組みについても積極的に推進していきます。

当社は、航空機器事業において防衛省との一部の修理契約で行っていた不適切な行為により、防衛省より2017年6月9日から3.5ヵ月の指名停止の措置を受けましたが、2017年9月23日に指名停止措置が解除されました。関係する皆様には多大なご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

内部統制体制の強化、現場の状況を「見える化」するシステムの導入やコミュニケーションを通じた風土・意識改革によるコンプライアンスの一層の徹底を図り、再発防止および継続的なモニタリングに努め、引き続きグローバル社会からより信頼される企業を目指して参ります。

株主の皆様には、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結決算の概要 (2017年9月30日現在)

連結貸借対照表 (億円)

	当上半期末 (2017年9月30日)	前期末 (2017年3月31日)
資産の部		
流動資産	2,705	2,631
固定資産	1,196	1,123
有形固定資産	807	788
無形固定資産	85	84
投資その他の資産	304	251
資産合計	3,900	3,754
負債の部		
流動負債	1,068	1,041
固定負債	298	296
負債合計	1,366	1,337
純資産の部		
株主資本	2,432	2,353
その他の包括利益累計額	99	60
非支配株主持分	3	3
純資産合計	2,534	2,416
負債純資産合計	3,900	3,754

説明1

説明2

説明2

説明2

説明1 総資産の増加

現金及び預金が133億円増加したことなどにより、総資産が146億円増加しました。

説明2 自己資本比率の向上

利益剰余金の増加などにより、自己資本比率は0.6ポイント向上し、64.9%となりました。

説明3 上半期の過去最高を更新

売上高は前年同期に比べ11%増加し、上半期で過去最高の1,721億円となり、営業利益157億円、経常利益156億円、親会社株主に帰属する四半期純利益113億円と全て過去最高額を更新しました。

配当のご案内 中間配当金 1株当たり11円

配当金は、2017年12月4日(月)以降お受け取りいただけます。

配当金のお支払いに関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-094-777 (通話料無料) 土・日・祝日等を除く9時~17時

詳しくは当社ホームページより

「2017年度 第2四半期(4-9月累計)短信」をご覧ください。

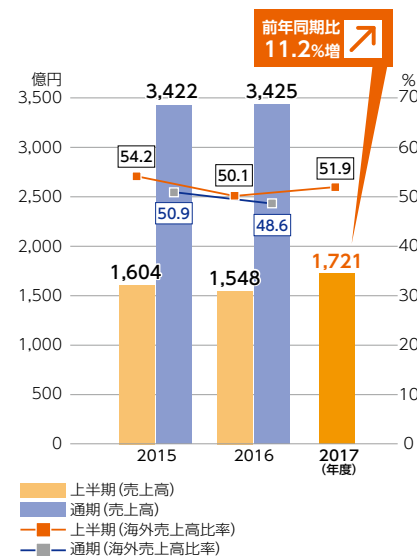
▶▶▶ <http://www.shimadzu.co.jp/ir/result.html#y2017>



業績ハイライト (2017年9月30日現在)

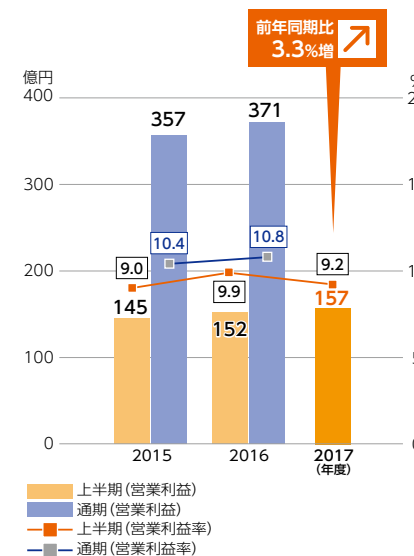
売上高 1,721億円

海外売上高比率 51.9%



営業利益 157億円

営業利益率 9.2%

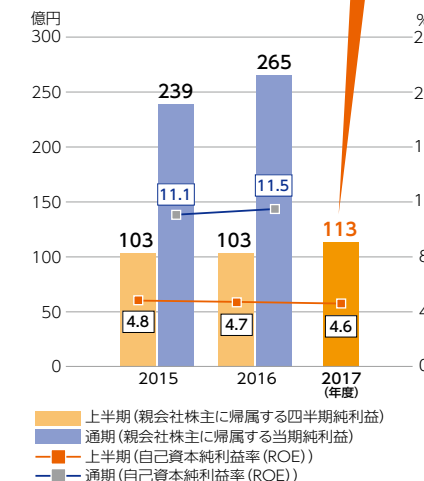


親会社株主に帰属する当期純利益

113億円

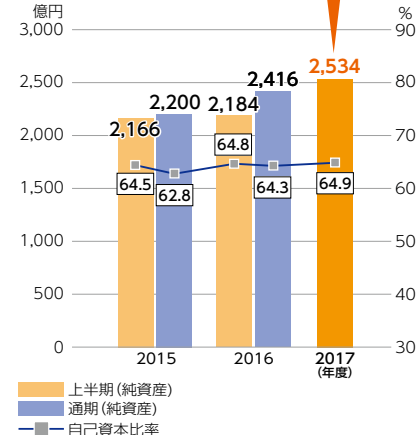
自己資本純利益率(ROE)

4.6%



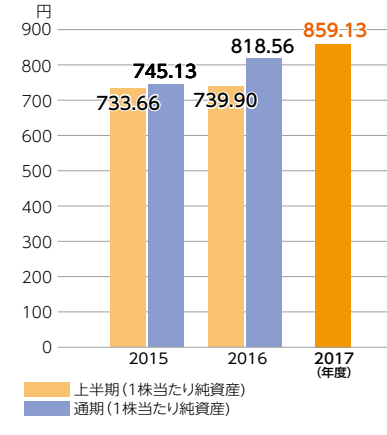
純資産 2,534億円

自己資本比率 64.9%



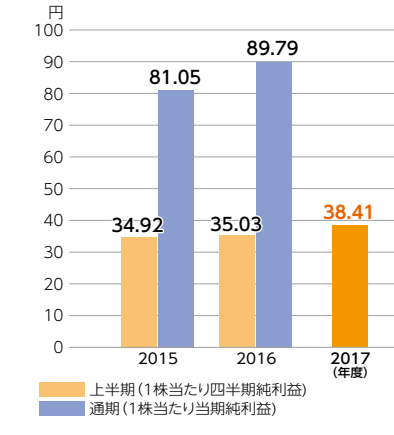
1株当たり純資産

859.13円

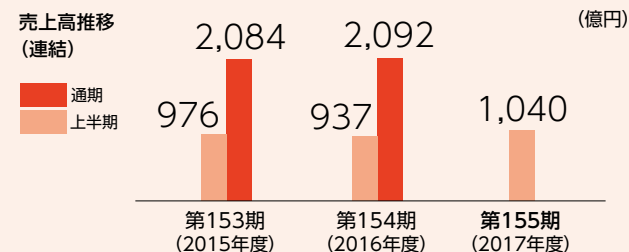


1株当たり当期純利益

38.41円



計測機器事業



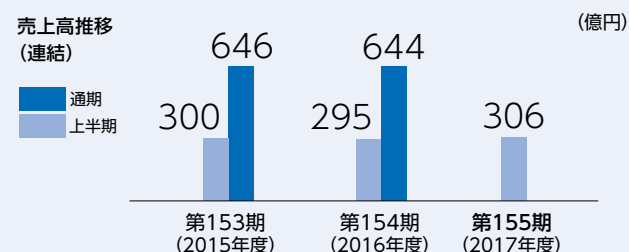
【概況】

- 北米では、臨床・化学・官庁向けの質量分析装置などが堅調だったものの、一部案件の進捗遅れなどにより、全体としては微減となりました。欧州では、製薬・食品向けに質量分析装置や液体クロマトグラフが堅調に推移しました。中国では、食品安全、受託分析や環境規制分野が活況で、質量分析装置・液体クロマトグラフ・ガスクロマトグラフ・環境計測機器が好調に推移しました。東南アジアでは、官公需の停滞などがありましたが、製薬向けなどに質量分析装置が好調に推移し、インドでは液体クロマトグラフが堅調に推移しました。
- 日本では、医薬・化学向け液体クロマトグラフや自動車向け試験機の需要が拡大し、また官公需ではガスクロマトグラフなどを中心に好調に推移しました。



液体クロマトグラフ質量分析装置

医用機器事業



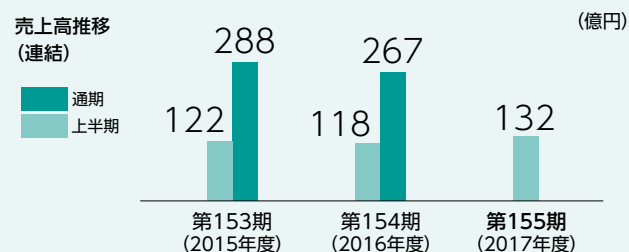
【概況】

- 北米では、診療報酬改定によるデジタル化促進の追い風を捉え、X線撮影システムが伸びました。欧州では、東欧で血管撮影システムが堅調に推移しましたが、西欧の市況低迷により全体としては厳しく推移しました。中国では、需要の回復および顧客ニーズに対応した製品ラインアップの強化により、X線撮影システムが堅調に推移しました。東南アジアでは、デジタル化対応のニーズを取り込んだX線撮影システムや強化機種の血管撮影システムが好調でした。
- 日本では、X線撮影システムが診療所向けなどに拡大し好調に推移しました。



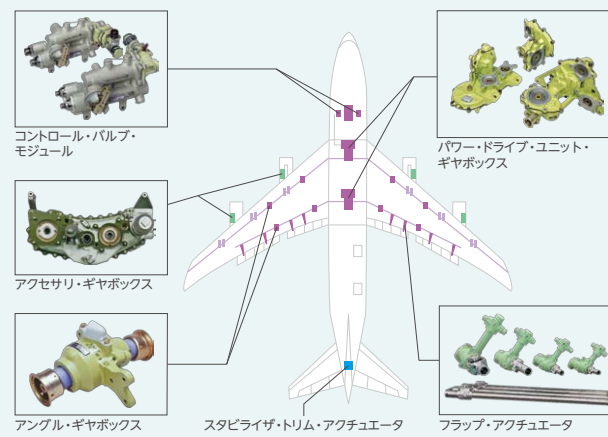
X線撮影システム

航空機器事業



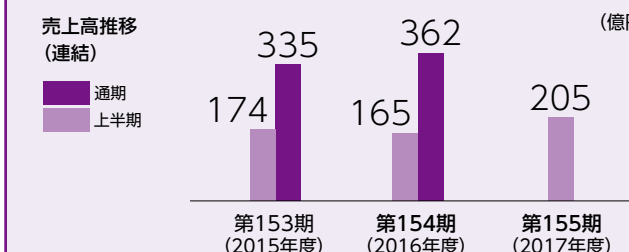
【概況】

- 北米では、ボーイング社の旅客機減産の影響により厳しく推移しました。
- 日本では、防衛省向け航空機搭載機器が増加し堅調に推移しました。



フライトコントロールシステム

産業機器事業



【概況】

- ターボ分子ポンプは、日本・北米・中国・欧州で、半導体製造装置・FPD製造装置向けおよび建材ガラス市場向けを中心に引き続き好調に推移しました。ガラスワインダーも、中国における電子基板・自動車・風力発電向けの需要が引き続き活況で、大きく増加しました。
- 油圧機器は、建設機械や中国における産業車両(フォークリフト)向けが好調に推移しました。



ターボ分子ポンプ 油圧歯車ポンプ

その他の事業



**乳房専用PET装置が産学官連携功労者表彰
高精度で撮像範囲を拡大した新モデルを発売**

高精度で痛みのない乳がん検査を支援する乳房専用PET装置「Elmammo」の研究・開発が、「第15回産学官連携功労者表彰 厚生労働大臣賞」を受賞しました。また、今まで見えにくかった胸壁部分などの撮像範囲を更に拡大した新モデル「Elmammo Avant Class」を発売しました。この装置は、全身用PET装置では発見できない5mm程度のがんを検出できる性能を保有しています。腫瘍が発見しづらいとされる乳腺密度の高い乳房の検査にも有効との報告がされており、乳がん診療での貢献が期待されます。



Elmammo Avant Class

**【表紙掲載製品】
「前処理不要の迅速さ」で新たな需要を発掘
探針エレクトロスプレーイオン化質量分析計を発売**

質量分析測定は、測定までの前処理や成分の分離過程に手間と時間がかかる場合が多く、現場では簡便かつ迅速に測定したいというニーズがあります。こうしたニーズに応えるため、探針に付着したわずかな試料を直接イオン化できる探針エレクトロスプレーイオン化質量分析計「DPiMS-2020」を発売しました。調べたい対象をプレートに少量添加するだけで準備が完了し、分析開始後約2分で測定結果を得られます。緊急で血液中の毒物を測定する必要がある法医学現場や、分析作業の効率性かつ迅速性を求める企業や研究機関などで活躍が期待されます。当社は今後も、「煩雑な前処理なしで迅速に測定」できる質量分析計のラインアップを拡充し、多様な分析のニーズに応えていきます。



DPiMS-2020

「アドバンスト・ヘルスケア」分野で積極投資

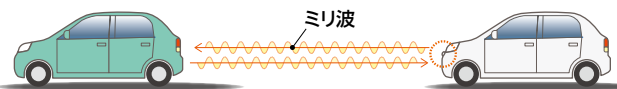
当社は、一歩先を見据えた医療や健康へ貢献する取り組みを「アドバンスト・ヘルスケア」と呼び、中期経営計画における重点分野と位置づけ、投資を積極的に進めています。6月には、臨床分野で用いられる質量分析装置用の特殊な試薬を製造するフランスのAlsachim SAS社を買収しました。8月には、軽度認知障害の早期検査を手がけるバイオベンチャー(株)MCBIへ、T&D保険グループの太陽生命保険(株)と共同で出資し、社会課題の一つである認知症対策に取り組んでいます。また、研究開発面においては、7月に、高血圧の要因である原発性アルドステロン症の検査における副腎静脈採血を効率的に支援する研究を東北大学病院と共同で開始しました。当社は今後もアドバンスト・ヘルスケア分野における事業の拡大を進めていきます。

**低コスト・高効率を実現するミリ波(電磁波)
透過膜の成膜技術を開発**

自動車の安全性を高める衝突防止技術において、距離を測るために使われるミリ波レーダーが注目されています。通常、ミリ波レーダーは車体正面のエンブレムに内蔵されるため、エンブレムの金属コーティングにはミリ波を透過させる希少金属膜が使われていますが、ミリ波レーダーの普及にあたり、この金属のコストや生産の効率性が課題となっています。そこで、当社と(株)JCU、(株)きもとの3社は関東学院大学と共同で当社の真空成膜装置による希少金属を使わない成膜技術を開発しました。この新技術により、低コストかつ効率的に成膜することが可能となりました。当社は、自動車の安全性や自動運転技術の向上に貢献すべく、この成膜技術の普及に努めていきます。



真空成膜装置



ミリ波

■ 会社概要 (2017年9月30日現在)

商号 株式会社島津製作所
Shimadzu Corporation
創業 明治8年(1875年)3月
設立 大正6年(1917年)9月
本社所在地 〒604-8511
京都市中京区西ノ京桑原町1番地
電話075-823-1111(代表)
資本金 26,648,899,574円
従業員数 単独 3,292名 連結 11,792名
連結子会社数 国内23社 海外50社

■ 主要な事業所 (2017年9月30日現在)

本社 京都市中京区西ノ京桑原町1番地
支社 東京/関西(大阪市)
支店 札幌/東北(仙台市)/つくば/北関東(さいたま市)/
横浜/名古屋/京都/神戸/広島/九州(福岡市)/
静岡/四国(高松市)
工場 三条/紫野(いずれも京都市)/厚木/秦野/瀬田(大津市)
研究所 基盤技術研究所(京都府精華町/京都市)
田中耕一記念質量分析研究所(京都市)

■ 取締役および監査役 (2017年9月30日現在)



社外監査役 飯田 隆
常任監査役 藤井 浩之
常勤監査役 上松 幸治
社外監査役 西尾 方宏

社外取締役 藤原 健嗣
取締役 専務執行役員 古澤 宏二
取締役 専務執行役員 藤野 寛
代表取締役 会長 中本 晃
代表取締役 社長 上田 輝久
取締役 専務執行役員 三浦 泰夫
社外取締役 澤口 実
社外取締役 和田 浩子

株式情報 (2017年9月30日現在)

株式の状況

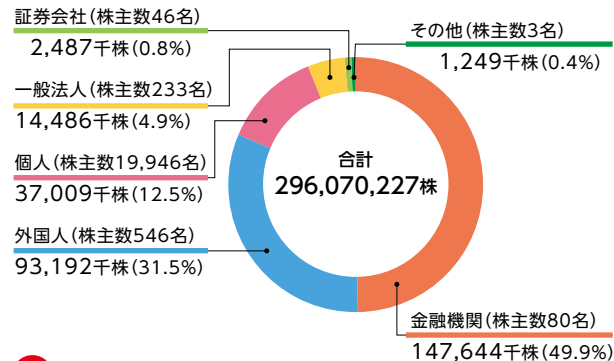
株主数 20,854名
発行済株式総数 296,070,227株

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	20,742	7.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,651	5.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,818	5.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	8,298	2.81
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,672	2.60
太陽生命保険株式会社	7,411	2.51
東京海上日動火災保険株式会社	6,287	2.13
全国共済農業協同組合連合会	6,101	2.07
株式会社京都銀行	4,922	1.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	4,512	1.53

*持株比率は、自己株式(1,246,590株)を控除して計算しております。

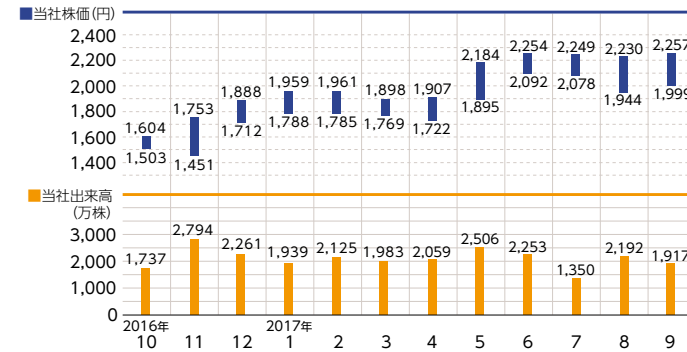
所有者別株式分布状況



JPX-NIKKEI 400
2017年度選定

日本取引所グループ(JPX)と東京証券取引所、日本経済新聞社が、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした企業を選定する目的で、2014年から公表を開始した「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に2016年度より選定されています。

株価の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
株主確定基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
(その他必要ある場合は、公告のうえ設定します。)

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載します。
<http://www.shimadzu.co.jp/aboutus/ir/kk.html>
ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、京都新聞および日本経済新聞に掲載します。

1単元の株数 100株
※2017年1月1日付で、単元株式数を1,000株から100株に変更しております。
株主各位におかれましては、本件に関する手続きは不要です。

株主名簿管理人 および特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話(通話料無料) **0120-094-777**
(受付時間 土・日・祝日等を除く9時～17時)

証券コード 7701

上場証券取引所 東証第一部

証券会社に口座をお持ちでない株主様へ

現在、証券会社に口座をお持ちでない株主様の株式は、当社が三菱UFJ信託銀行株式会社に開設した「特別口座」において管理しております。**「特別口座」では、証券市場において株式を売買できないなどの制約があります**ので、次のお手続きをお勧めいたします。ご所有の株式が「特別口座」で管理されているかご不明の株主様は、下記の**三菱UFJ信託銀行**へお問い合わせください。

お心当たりは
ございませんか?

- お手元に株券がある(証券会社に株式を預けていない)
- 配当金のご連絡通知に記載されている株式数と、証券会社に預けている株式数が一致しない

お心当たりが
ございましたら、

株式が「特別口座」で
管理されている
可能性がございます

①「特別口座」にある株式の証券口座への振替方法

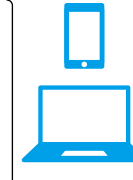
証券会社に口座を開設する。

既に証券会社に株式の取扱いができる口座をお持ちであれば、新たに開設いただく必要はありません。



▶ 三菱UFJ信託銀行に「口座振替申請書」を請求する。

下記の**三菱UFJ信託銀行**のホームページ「特別口座」に関するお手続き(上場会社)からも口座振替申請書〔特別口座〕をダウンロードいただけます。



▶ 申請書に必要な事項を記入・届出印を押印して三菱UFJ信託銀行に送付する。

【送付先】
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部



▶ これで手続きは完了です。

証券会社の口座に株式が振替わります。

② 単元未満株式の買取請求

「特別口座」にご所有の単元未満株式(100株未満)を、市場価格にて当社に売却(買取請求)するお手続きです。ご希望の株主様は、下記の**三菱UFJ信託銀行**にお問い合わせください。

例) 50株をご所有の株主様の場合

ご所有株式
50株

買取請求
当社に50株を売却

売却代金のお受け取り
(50株×市場価格)

株式に関するお問い合わせ先

■ 住所・氏名変更、配当金振込指定、単元未満株式買取請求、相続に伴うお手続き等
→ **株式をお預けの証券会社**、または証券会社にお預けでない場合は、**三菱UFJ信託銀行**

■ 「特別口座」(上記ご参照)に関するご照会、郵便物の発送と返戻に関するご照会、支払い期間経過後の配当金に関するご照会
→ **三菱UFJ信託銀行** 証券代行部テレホンセンター(通話料無料) 受付時間 9時～17時(土・日・祝日等を除く)

電話 0120-094-777(大阪) / 0120-232-711(東京)
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

配当金のお受け取りについて

配当金は口座振込でも受け取ることができます。

口座振込をご利用いただけますと、配当金の支払開始日にご指定の口座（銀行口座、ゆうちょ口座（※）、証券総合口座等）にお振込みいたします。

※2017年10月からゆうちょ口座への振り込みも可能になりました。

配当金の受け取り方法のご変更は、株式をお預けの証券会社、または証券会社にお預けでない場合は、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。詳細は、10頁下の「株式に関するお問い合わせ先」をご覧ください。



当社は乳がんの正しい知識を広め、検診の受診率向上に貢献するため、ピンクリボン活動を支援しています。

<http://www.shimadzu.co.jp/pinkribbon/>



◀◀◀当社ホームページのご案内

<http://www.shimadzu.co.jp>

🔍 島津製作所

検索



島津製作所 創業記念資料館のご案内

当館は、創業100年を迎えたのを記念し、創業者である初代と二代目島津源蔵の遺徳を偲び1975年に開設されました。館内には、創業以来製造してきた理化学器械、産業機器やX線装置ならびに事業活動に関連する文献・資料などを展示しており、島津製作所の歩みとともに、日本の近代科学技術の発展過程をご覧いただけます。



島津製作所 創業記念資料館 (国の登録有形文化財)

- 休館日 / 水曜日、年末年始
- 入館時間 / 9:30~16:30 (閉館17:00)
- 入館料 / 大人300円 中高生200円 小学生以下 無料 団体割引 (20名以上20%引)

- 市バス「京都市役所前」下車徒歩約3分
- 京阪電車「三条駅」下車徒歩約7分
- 地下鉄東西線「京都市役所前駅」下車2番出口徒歩約3分 (地下鉄丸線「京都駅」より「烏丸御池駅」乗換、地下鉄東西線「京都市役所前駅」下車)
- JR「京都駅」よりタクシーで約20分



〒604-0921 京都市中京区木屋町二条南
●TEL/075-255-0980 ●FAX/075-255-0985
●<http://www.shimadzu.co.jp/visionary/memorial-hall/>

キリトリ

島津製作所 創業記念資料館
株主様 無料入館券

本券1枚につき4名様まで無料で入館いただけます。
(2018年9月末まで有効)



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。環境への配慮のため、責任ある森林からの原料を含む「FSC®認証紙」を使用し、植物油を用いた印刷をしています。

DP050-0155A / 0220-09703-22BNS